

# 平成23年度 石川県水産振興協議会次第

平成24年3月27日（火）  
10:00～12:00  
県庁11階 1101会議室

## 1 開 会

## 2 挨拶 （・・・佐藤農林水産部長）

## 3 委員紹介

## 4 会長選出 （・・・小川委員を会長に選出）

## 5 議 題

### （1）県の水産施策方針について

### （2）県産魚の利用拡大に向けた取組について

- ① 外食・中食向け加工品の販路開拓
- ② 学校給食での利用促進

### （3）漁業就業者の確保育成対策について

- ① 新規就業者の確保対策
- ② 既存漁業者のスキルアップ対策

### （4）平成24年度新規事業の紹介

- ① 能登の里海藻場保全対策事業

### （5）平成23年度水産総合センター研究成果について

- ① 研究成果の概要
- ② トリガイの養殖技術開発（スライド紹介）

### （6）その他

## 6 閉 会

## ※ 主な発言内容

### (1) 県の水産施策方針について

- ・海女による藻場再生活動に対する支援については、資源管理の観点で将来的には自主的な取組として継続していけるような方向付けが大事だと思う。
- ・漁業者の6次産業化の取組はこれから大事になってくるので、今後、県のアドバイスをお願いしたい。

### (2) 県産魚の利用拡大に向けた取組について

- ・学校給食では、子どもに包丁を使わせたり、食べ方を教えると、子どもがもっと魚を好きになってくれるので、漁協女性部を活用して出前講座をしたらよい。
- ・子どもの魚離れは大人が食べないことから生じるので、家庭でもっと魚を食べるようにすべき。
- ・学校給食で県産魚の利用拡大を図るためには、学校の調理師や栄養士ときめ細かに話をしていくことが大事かと思う。
- ・冷凍施設を活用して大量に水揚げされた魚を安く仕入れてストックすれば、計画的に学校給食に利用できるのでは。
- ・加工品の販路開拓において、県でたくさん獲れるニギスは県外での知名度があまりないので、何かと組み合わせて食べてもらえるような仕掛けをしたらどうか。

### (3) 漁業就業者の確保育成対策について

- ・きついといわれる底びき網でも地区によっては労働条件が改善されているが、辛抱できずに辞めていく人もいる。
- ・利益の出る漁業を確立しないと、小規模漁業では、若い人が定着しないと思う。
- ・新規就業者の人にいきなり他の船員と同様の仕事をさせるのではなく、予備期間を設けた方が長続きするのではないか。

### (5) 平成23年度水産総合センター研究成果について

(水産総合センターから以下の研究内容を報告)

#### ① 研究成果の概要

- ・石川県海況予測情報提供システムの開発
- ・沖合域におけるリアルタイム観測ブイの設置
- ・イカ釣り操業船周囲におけるスルメイカの行動と釣獲に至る過程
- ・アカモクの種苗生産および養殖技術の改良
- ・小型サワラ(サゴシ)を原料としたいしるの製造技術開発

#### ② トリガイの養殖技術開発(スライド紹介)

- ・海況予測情報提供システムに関して、操業可否の判断に重要な風速についてもデータ提供していただきたい。
- ・水産総合センターで実施している研究成果発表会をもっとたくさんの関係者に聴講してもらえるよう、PR・工夫をしたらどうか。